

# グンントピックス

北海道立林業試験場

No.22

## 樹木成分を利用した新しい忌避剤の開発

野ネズミは冬に餌として樹皮などを食べています。昨春は大切にしていた庭木をかじられた方も多かったことでしょう。

樹木をネズミから守る方法の一つに、忌避剤を塗るやり方があります。私たちは植物自体が持っている天然物質を忌避剤として利用する研究を進めています。北海道産の樹木を林産試験場と共同で調べたところ、樹皮から野ネズミの摂食を抑える物質を見つけました。たとえば、針葉樹のカラマツ類ではステロール類がそれにあたります。

現在、効力が高く、環境にやさしい製剤の開発をめざしています。

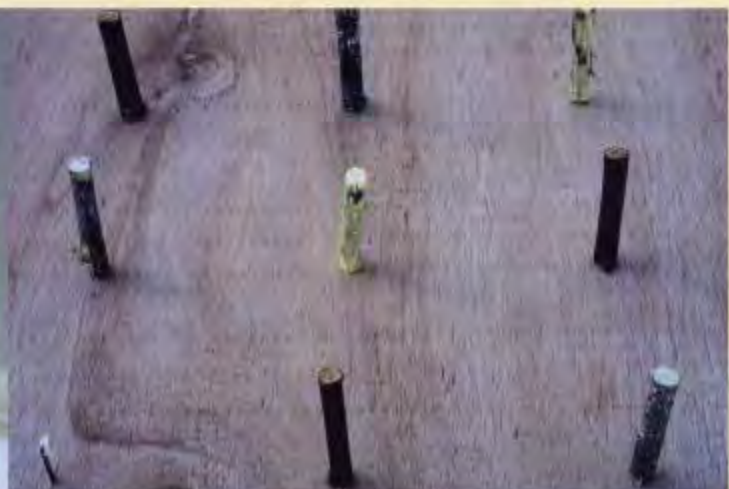
(森林保護部 主任研究員)



ニセアカシアの枝をかじるエゾヤチネズミ  
(ビデオ撮影から印刷)



カラマツから抽出された樹皮成分



かじられた枝のようす  
(斜めに並んだ摂食抑制物質を塗っていない枝が激しくかじられている)